

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

Peace Through Service

奉仕を通じて平和を

2012-2013年度 国際ロータリー会長 田中 作次



2012-2013年度 会長 坪井和義 幹事 中村有孝 クラブ会報委員長 坂倉弘康
創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30
例会場/ウェスティングナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

TEL 052-523-1998 FAX 052-531-0727

2012 December 19

■ 2012 ~ 2013 年度方針
「楽しいロータリーライフ」

NO.23

例会報告

●第1973回例会 平成24年12月19日（水）晴

●12月は家族月間

●ロータリーソング 四つのテストのうた

●出席報告 会員 106 名中 出席77名
(101)

出席率76.24% 修正出席率91.12%
(12月 5 日分)

●ゲスト紹介

ゲストスピーカー

名古屋音大音楽部長 山本 みよ子氏

●ニコボックス

「今週12月17日付にて東証一部、名証一部に上場、
指定替えとなりました。ありがとうございました。」
清水正久君

「今年一年、お疲れ様でした。来年も、又、元気に
お会いしましょう。」

上村晋也君、小南速雄君、石原敏夫君
林 邦司君、石川一郎君、安井隆豊君
上野山 進君、佐橋嘉彦君、夏目 稔君
武藤 博君、南 喜幸君、中野義識君

横野智之君、加治佐健二君、宮下幸二郎君
加藤重和君、夏目英司君、高木一平君

今村孝治君、亀谷喜敬君、亀井敏勝君

小林利之君、棚橋秀行君、内間三好君
中条忠直君、武田 猛君、桑山卓也君

二村伝治君、小松佳史君、福田哲三君
坂倉弘康君、加藤一郎君、安井信之君

佐藤公俊君、中浜明光君、川畑 元君

服部 滋君、一柳 宰君、近藤東臣君

中川信治君、田中正次君、伊藤勝康君

久保哲政君、天野俊明君、山田和弘君

吉田正道君、野崎敏夫君、花橋日出夫君

山田明紀君、赤瀬宏司君、柏木順壱君

増田靖憲君、横井辰幸君、稻川 久君

前野智純君、須賀邦一郎君、片桐寛治君

内藤博文君、丸山弘昭君、間地 寛君

浅野 洋君、中村有孝君、服部雅紀君

端山佳誠君、町田重夫君、久保和彦君

「先日、ゴルフ通の会で、優勝しました。一緒に回った天野清美さん、松原さん、ありがとうございます。とても、ゴルフに集中できたのでベストスコアで回ることが出来ました。来年は80台をめざしますので、これからもよろしくお願ひします。」
小林利之君

本日のニコボックス	3件	143,000円
累 計	139件	1,597,000円

中村幹事報告

▽当クラブ行事予定

- ・12月19日(水) 本日例会終了後、理事会を行います。
- ・12月26日、1月2日(水) 規定期休日により休会
- ・平成25年
- ・1月23日(水) 新春夜間例会、ウェスティングナゴヤキャッスル、18時~。
*お昼の例会はございません。

丸山弘昭副会長挨拶

本日は、わずか2年足らずで再生を果たした稻盛和夫（現在JAL名誉会長）の経営哲学フィロソフィについてお話をさせていただきます。

稻盛さんは京セラ創業者で、誰もが認める偉大な経営者です。JAL再生の立役者は稻盛さんであると断言できます。

稻盛さんは「どうして2年足らずでJALを再生できたのですか」という質問に次のように答えてています。

「私が京セラの同志2人とともに、JALに持つて来たのは二つだけ。ひとつはアメーバ経営、もう一つはフィロソフィです」

アメーバ経営は管理会計の仕組みで全員参加型の経営、収益力を高める経営の仕組みです。フィロソ

フィは稻盛さんの経営哲学で、社員に意識改革を求めるものです。

フィロソフィは一言で表現すれば、「人間として正しいことをする」ということになります。稻盛さんはJAL再生の手法としてこの二つを京セラから持ち込んだといっています。

稻盛さんがJALの会長就任し、JALに乗り込んだところ真っ先に気がついたのは「この会社の幹部は経営者としての資質に欠ける」ということでした。

そこで50名の役員、部長に対しフィロソフィ共同勉強会を開催し意識改革に着手しました。一回3時間（レクチャー、グループ討議、飲み会）の勉強会を18回行ったそうです。その過程で、幹部の意識がだんだん変わり、JALでもフィロソフィを作ろうという話が自然と出てきたようです。

そこでJALフィロソフィワーキンググループが立ち上がり3ヶ月でJALフィロソフィが完成しました。ちなみに、ワーキンググループのトップは元パイロットの植木さん、この方が現在のJAL社長です。そして、JALフィロソフィ教育が全社員対象に実施し、会社全体に浸透させていったそうです。

ここで稻盛さんがフィロソフィで常に語っている代表的なものを一つご紹介します。それは、人生の成功方程式というものです。

稻盛さんは人生、仕事の結果＝考え方×熱意×能力であると言います。

能力が高ければいいだけではダメで、熱意がないと能力が發揮されない。したがって熱意のある人材でなければなりません。しかし、能力が高く、熱意があればいいのかというとまだ欠けているものがある。能力、熱意を正しい方向に向ける考え方を持っていなければ結果に結びつかない。

稻盛さんはもっとも重要なのは「考え方」であり、考え方にはマイナスもあるといっています。会社での社員抜擢、いろいろな組織での人材登用のヒントになればと思い、お話をさせて頂きました。

卓 話

浅草オペラの遺したもの

名古屋音楽大学音楽部長 山 本 みよ子



明治末期、イタリア人、ローシーは東京・帝国劇場のオペラ指導者として招聘されたとき、ロイヤル・シアターの名前から王室がかかわる劇場だと思い込んだ。

大正元年、来日して、自分の思い違いだと知る。ローシーの指導は厳格を極めたが、歌舞伎全盛の当時、オペラは興行的にはむずかしく、やが

て解散に追い込まれた。

行き場を失った役者たちが行き着いた先が浅草六区。大正6年から浅草オペラが始まった。

ここで歌われたオペラが、ラジオ、テレビのない時代にもかかわらず、熱い関心を集め、全国各地で歌われた。オペラの楽譜を売り歩く商売が繁盛した。

田谷力三の「恋はやさしい野辺の花よ」とか「ベアトリ姫ちゃん」は全国的な流行歌になった。浅草オペラの熱狂的なファンには、宮沢賢治や多くの文人たちがいた。

大正12年9月1日、関東大震災が発生、浅草は壊滅的な被害を受け、浅草オペラの火は消えてしまった。わずか6年間の浅草オペラだったが、オペラの大衆化に果たした役割は実に大きなものがあった。

●第6回理事会(平成24年12月19日(水) 例会終了後 ウェスティングナゴヤキャッスル)

- ・ SAKUJI 作戦の件
- ・ 5月15日(水)の例会変更の件
(春の家族会5月12日(日)に変更)
- ・ 石川雅迪君職業分類の件
(建築・土木グループのリフォーム)
新規オープン
- ・ 下半期年会費の件
- ・ その他

●1月度誕生日祝福

会 員	ご 夫 人
田尻幹夫 君(1月2日)	天野淑明 夫人(1月2日)
須賀邦一郎 君(1月8日)	倉本 徹 夫人(1月2日)
横野智之 君(1月8日)	蜂須賀太郎 夫人(1月2日)
蜂須賀太郎 君(1月18日)	小松佳史 夫人(1月4日)
天野清美 君(1月20日)	中条忠直 夫人(1月8日)
天野淑明 君(1月21日)	夏目 稔 夫人(1月10日)
岩田玄知 君(1月26日)	松下 剛 夫人(1月11日)
谷 喜久郎 君(1月27日)	上野山 進 夫人(1月13日)
	今井明雄 夫人(1月31日)

例会	月日	今後の予定
	12.26	休会(規定休日)年末年始の為
	1.2	
第1974回	1.9	ロータリー理解推進月間に因んで 会員 夏目 稔ロータリー情報委員長
第1975回	1.16	公益財団法人 名古屋まちづくり公社 理事長 杉浦 雅樹氏 「名古屋まちづくり (都市開発整備からまちづくりへ)」
第1976回	1.23	新春夜間例会 18:00~ ウェスティングナゴヤキャッスル 例会変更

○このウィクリーは再生紙を使用しております。